

# 連載

## 学校運動部活動と連携するクラブ



### NPO法人七瀬の里Nクラブ

#### <大分県大分市>



学校運動部活動をめぐっては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

このような中、令和4年6月6日に「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」が示され、提言では総合型クラブと学校運動部活動の連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。

## 1 クラブ概要

### ●高齢者生きがい健康づくり事業

送迎付き高齢者健康教室、出前高齢者健康教室、三世代グラウンドゴルフ大会、Nスポカップグラウンドゴルフ大会

### ●スポーツ振興および青少年健全育成事業

ジュニアサッカー部、ジュニアテニス部、ジュニア陸上部、ミニバスケットボール部、ジュニアスポーツ総合プログラム、中学生硬式野球クラブ、中学生硬式テニス部、中学生バドミントン部

### ●地域スポーツ振興事業

軟式野球リーグ(40歳以上の部、一般の部)、野津原地区バレーボール大会、野津原地区ソフトボール大会、野津原地区ふれあい駅伝大会、野津原地区お盆軟式野球大会、障害者スポーツ選手との交流会、その他各種大会(サッカー、卓球、テニス、全日本フィスビードッグ選手権大会)、総合型クラブシンポジウム

### ●中学校連携事業

大分県部活動改革調査研究事業

### ●地域スポーツ振興事業

Nスポ指導者地域スポーツ派遣事業



地区の駅伝大会（毎年12月開催）

## 2

## 学校側の理解構築に苦心 短期間のクラブ移行で得た教訓

### 中学教員だった現理事長の熱意で連携スタート

NPO法人七瀬の里Nクラブ(以下Nクラブ)は、野津原町が文科省モデル事業を受け平成14年から設立準備に入っておりました。中学校教員であった現理事長の森が平成15年に地元野津原中学校に異動となり、平成6年から始まっていた文科省総合型地域スポーツクラブ事業について興味深く見守り、ソシオ成岩スポーツクラブの学校部活動との連携を野津原でも取り組みたいと考えていました。平成15年から設立準備委員会のメンバーに入った森は、ジュニアスポーツの充実をクラブの基本理念の柱にするよう呼びかけ、ジュニアスポーツを柱に据えたNクラブが誕生しました。平成16年に誕生したNクラブの事務局長に就いた森は、生徒数、教員数が減少し部活動維持で問題を抱える中学校の教員として、教職員やPTAに対して部活動とクラブの連携について説明し理解を深め、連携の取り組みがスタートしました。

### クラブ設立時から中学部活動と連携

Nクラブは平成16年設立時より野津原中学校部活動との連携を行ってきており、設立時に6つあった部活動(軟式野球、サッカー、剣道=男女、柔道=男女、女子バレーボール、女子卓球)にはすべて指導者を派遣しました。すぐに派遣できたのは、ジュニアスポーツが柱の当クラブには野津原地区の小学生クラブがすべて加入しており、小学生クラブの指導者が中学生への指導も引き受けてくれたからです。また、土日に関しては中学校教職員の有志の方がNクラブの指導者として関わっていただきました。

設立と同時に創設した硬式テニス部は会費、施設、運営はNクラブが行い、学校側には引率顧問を付けてもらいました。設立当初の会費は年会費のみで、部活生はクラブに年額2000円を納めてもらいました。現在の会費は月額3000円です。新設した硬式テニスは町営テニスコートを使用しましたが、他の種目は中学校の体育館、柔剣道場等を使用しました。中学校施設は無料です。また、運営面では、森が学校教員とNクラブ事務局長として関わりました。



野津原中学校硬式テニス部  
運営、指導はNクラブ

## 2年間の完全移行で逆風も、専門的指導面で保護者から評価

設立から17年が経ち、少子化の中、学校部活動は3つ(うち1つは硬式テニス部)になり、学校とNクラブの連携は硬式テニス部のみとなっていました。そのような中、Nクラブ単独で令和元年度、令和2年度とスポーツ庁の運動部活動改革プラン(ニーズの多様化に関する調査実践研究)の委託を受け、取り組んできました。そこに令和3年度からは大分県がスポーツ庁から委託を受け、Nクラブと朝地フレンズクラブが県の事業として取り組んでいます。

今回の事業における大分県の要請は、1年目「移行の準備期間」、2年目は「完全移行」でした。2年間という短期間で完全移行は、クラブ側にとって、生徒・保護者からの不満や批判を真正面から受けることとなります。ただ一方で、保護者の方々から専門的指導についての評価はありました。また、先生が教科や学級経営に集中できるとの期待感に関する意見もありました。



運動部活動改革プラン(令和2年度)  
強化コース

## クラブ移行へ当初は消極的だった先生方

1年目の準備期間中は学校部活動として先生が指導する日が3日間、Nクラブとして指導者を派遣して活動するのが2日間というペースで実施してきました。ただ、中学校教職員の方々の考え方は、残念ながら消極的でした。例えば学校とクラブの打ち合わせ会では、「部活動を奪われた」という先生の発言もありました。移行への時間が短く、全国的に移行への機が熟していないこともあり、部活動の地域移行は先生方にとって素直に受け入れる環境になかったのかもしれない。それでも先生方には完全移行後はNクラブの指導者となって指導していただくようお願いしましたが、協力していただけたところまではいきませんでした。

### 完全移行の難しさが表面化

このように学校側から理解されない状況の中、2年目の完全移行に進んでいきました。先生が入れ替わる新学期の4月から、中体連の最後の大会がある6月までの時期は3年生にとって一番大切な時期でもあり、完全移行の難しさが表面化してしまいました。部活動として週5日あった活動がNクラブの活動のみの週3日になり、生徒のやる気や大会参加への意欲を減退させてしまう状況も生まれました。

### 理解得て先生もクラブ指導者に 移行期に必要なのは生徒中心の議論

それでも学校側の理解が徐々に進み、最終的には先生方の数名がNクラブの指導者となっただけ、活動日を保障することができたため、生徒は最後の中体連大会に参加し、中学校部活動を終えることができました。この間、学級担任のバスケットボール部顧問の先生が、他の先生方にアドバイスする役割を引き受けていただいたことで、先生方がクラブ指導者となる大きな助けとなりました。

地域移行で大切なことは、指導者の確保はもちろんですが、移行期における学校側とクラブの協力体制の構築だと思います。やはり、生徒を中心にした議論が必要ですし、生徒が思い切りスポーツに打ち込めるための移行の方法や役割分担を明確にしておくべきと感じています。

## 3 中学生世代のスポーツ充実に向け、地域ごとに受け皿を

### 生徒数が少ないため、希望調査を経て個人種目を新設

野津原中学校は全校生徒60名あまりのため、活動種目に限りがありました。こうした事情を踏まえ、今回の完全移行を機に団体ではなくバドミントン、卓球、陸上競技の個人種目を新たに用意し、生徒に希望を調査しました。新入生が入学した段階で1、2年生を対象に新種目の新設を予告するとともに、どの種目に参加したいかの希望をアンケート調査しました。その結果バドミントンのみ希望があり、バドミントン部を新設しました。2年生は20名のうち、既に部活動に参加していた生徒は2名(硬式テニス)でしたが、新設されたバドミントン部に4名が入部し、6名の生徒がスポーツに親しむようになりました。また、完全移行としてNクラブが運営する初年度に入学した1年生は全14名中の9名がバドミントン部に入部してくれました。

既にNクラブには野球、サッカーなどの集団スポーツは存在していますので、今後は個人種目を中心に新設し、野津原中学生だけでなく近隣中学校にも生徒募集を行い、発展性や継続性をテーマに中学生世代のスポーツを充実させていきたいと思っています。

## 地域の中で広げたいネットワーク

また、1つのクラブが完全移行しても部活動改革が終了したわけではありません。Nクラブとしては、今回、県の委託事業を受けた朝地フレンズクラブとともに「大分県ジュニアスポーツ振興育成会」(仮称)を立ち上げ、指導者育成と受け皿組織の構築を行っていきます。大分県には約2万9千人の生徒が在籍しており、500人～1000人の中学生が生活するエリアに1つの受け皿クラブをつくる構想を目標に、県内に30～50の受け皿クラブづくりに向けて取り組んでいきます。この育成会は地域、学校、行政、地元企業、プロチームの協力体制を築きあげ、これまで先生と生徒の間でのみ存在していたネットワークを地域、地元企業、学校、生徒の大きな輪の中のネットワークに変えていこうと思っています。これまで学校の先生の無償の犠牲で成り立っていた中学生スポーツを地域の中で感謝の輪を広げることにより、地元企業の経済的支援を生み出し、すべての生徒にスポーツ機会が保障され、家庭環境の違いによりスポーツの機会が奪われることのないようにしたいと強く思っています。

(NPO法人七瀬の里Nクラブ 理事長 森 慎一郎)

## クラブプロフィール

**設立年月日** 平成16年4月29日(平成19年9月27日法人登記)

**所在地** 大分県大分市大字野津原397番地

**運営** 会員数555名(令和4年3月現在)、予算規模51,000万円(令和3年度)

**特徴** ・小学生、中学生の会員が4割を占める

・地域のスポーツ大会をすべて担う

・高齢者の健康づくり、仲間づくりに力を注ぐ

**連絡先** 〒870-1203 大分県大分市大字野津原397番地

TEL / FAX 097-588-1662

URL <https://nspo-oita.com>

E-Mail [info@nspo-oita.com](mailto:info@nspo-oita.com)

